

時悠館春・夏企画展「知られざる比婆山信仰の世界」

比婆山学講座

その①

～熊野神社境内発見の弥生土器～

伊邪那美が眠る比婆の山

日本誕生の女神

庄原市比婆山熊野神社解説本
編集委員会 編著

庄原市帝釈峡博物展示施設 時悠館
稲村秀介

令和元年6月8日(土)
当館研修室

1

庄原市西城町 熊野神社境内遺跡 弥生土器 (約2,000年前)

2

1. 『出雲国風土記』にみる備後国境



3

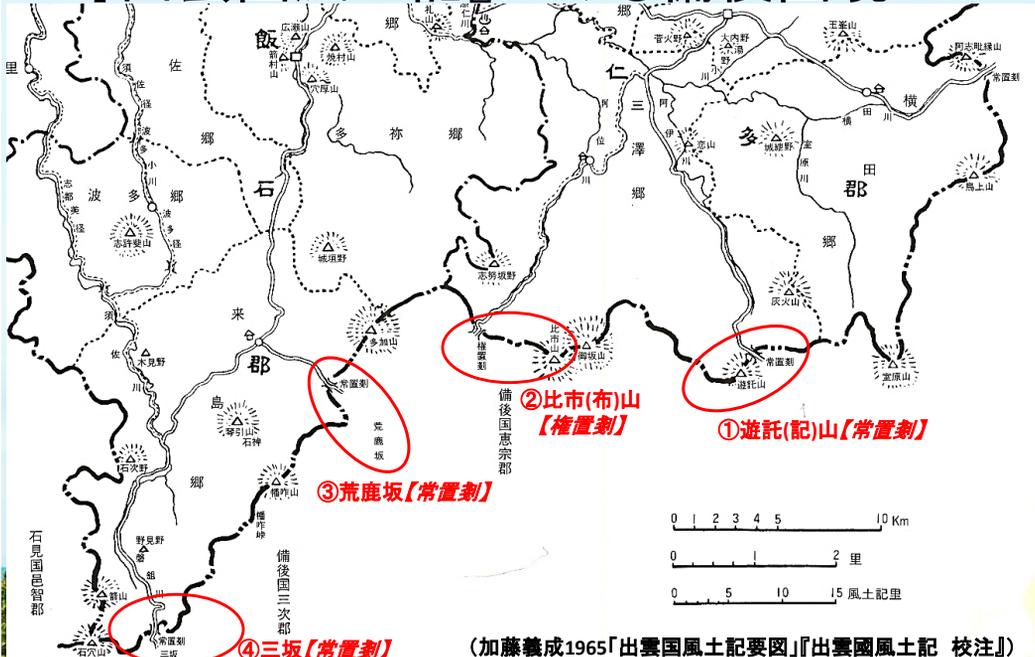
1. 『出雲国風土記』にみる備後国境

◆交通の要衝、『出雲国風土記』にみえる「常置剱」(つねきのせき)



4

1. 『出雲国風土記』にみる備後国境



- ①遊託(記)山
(烏帽子山)
- ②比市(布)山
(毛無山
あるいは
王貫峠)
- ③荒鹿坂
(草峠)
- ④三坂
(赤名峠)

(加藤義成1965「出雲国風土記要図」『出雲国風土記 校注』)

1. 『出雲国風土記』にみる備後国境

◆仁多郡 郷4、里12 …「にたしき小国なり」(byオオナムチ)

仁多郡 仁多と號くる所以は 所造天下大神大穴持命 詔りたまひしく、此一の國は大きくも非ず、小くも非ず、川上は、木の穂刈し加布交ふ。川下は、河志婆布這ひ度れり。是は彌多志根小國なり」と詔りたまひき。故、仁多と云ふ。

三處郷。即ち郡家に屬けり。大穴持命 詔りたまひしく、「此の地の田好し。故、吾が御地の田」と詔りたまひき。故、三處と云ふ。

布勢郷。郡家の正西一十里なり。古老の傳へに云へらく、大神命の宿り坐しし處なり。故、布世と云ふ。神龜三年に字を布勢と改む。

三澤郷。郡家の西南二十五里なり。大神大穴持命の御子 阿遲須伎高日子命、御須髮八握に生ふるまで、晝夜哭き坐して、辭通はざりき。爾の時、御祖命、御子を船に乗せて、八十嶋を率巡りて宇良加志(慰かし)給へども、猶哭き止またまはざりき。大神、夢に願ぎたまひしく、「御子の哭く由を告りたまへ」と夢に願ぎ坐しき。その夜、御子の辭通ふと夢見坐ししかば、則ち寤めて問ひ給ふに、爾の時、「御澤」と申したまひき。爾の時、「何處をか然云ふ」と問ひ給へば、即ち御祖の前を立ち去り出て坐して、石川を度り、坂上に至り留まりて、「是處ぞ」と申したまひき。爾の時、其の澤の水沼出だして、御身沐浴ぎ坐しき。故、國造 神古詞奏しに朝廷に参向かふ時、其の水沼出だして用ひ初むるなり。此に依りて、今も産婦彼の村の稻を食はず。若し食へば、生まるる子已にも云はず。故、三澤と云ふ。即ち正倉あり。

横田郷。郡家の東南二十一里なり。古老の傳へに云へらく、郷の中に田四段許あり。形聊か長し。遂に田に依りて、故、横田と云ふ。即ち正倉あり。

以上の郷の郷より出す所の嶺を、堅くして、大も難儀を造るに堪ふ。

1. 『出雲国風土記』にみる備後国境

◆仁多郡 郷4、里12 …「にたしき小国なり」(byオオナムチ)

仁多郡

式三澤社 (三沢神社)
玉作社
湯野社
漆仁社
印支斯里社

伊我多氣社 伊我多氣神社 以上二所は並等
須我乃非社
比太社
大原社
石壺社 以上八所は、並びに神祇官にあらざる

鳥上山 郡家の東南三十五里なり。
室原山 郡家の東南三十六里なり。
灰火山 郡家の東南三十里なり。
遊託山 郡家の正南三十七里なり。
御坂山 郡家の西南五十三里なり。即ち此の山に神の御門あり。
故、御坂と云ふ。

伯耆、出雲との界
なり。意味あり。
備後と出雲との二國の
界なり。意味あり。

戀山 郡家の正南二十三里なり。古老の傳へに云へらく、和衛(和)阿伊村に坐す神、玉日女命を戀ひて上り到りき。爾の時、玉日女命石以て川を塞へまししかば、え會はずして戀ひき。故、戀山と云ふ。

通道。飯石郡の界なる漆仁川の邊に通ふは二十八里なり。即ち川邊に藥湯あり。一たび浴すれば則ち身體穩平き、再び灌げば則ち萬の病消除る。男も女も、老いたるも少きも、晝夜息まず、驛驛往來ひて、驗を得ずといふことなし。故、俗人、號けて藥湯と云ふ。即ち正倉あり。

備後國の惠壽郡の界なる遊託山に通ふは、三十七里なり。
同じ惠壽郡の界なる比市山に通ふは、五十三里なり。
當りて、戀ひて
常(常)に類
常(常)に類
但、政ある時に

7

1. 『出雲国風土記』にみる備後国境

◆飯石郡 郷7、里19 …「国どころなり」(byスサノオ)

飯石郡

熊谷郷 郡家の東北二十六里なり。古老の傳へに云へらく、久志伊奈太美等與麻奴良比賣命、任身みまして産まむとしたまひし時、生みまむ處を求ぎたまひき。爾の時、此の處に來りまして詔りたまひしく、「甚く久麻久麻志根(隈々しき)谷なり」とのりたまひき。故、熊谷と云ふ。(「隈々しき谷」入り込んだ谷)

三屋郷 郡家の東北二十四里なり。所造天下大神の御門、即ち此の處にあり。故、三刀矢と云ふ。神龜三年に、字を三屋と改む。

飯石郷 郡家の正東二十二里なり。伊弉志都美命、天降り坐しし處なり。故、伊弉志と云ふ。神龜三年に、字を飯石と改む。

多福郷 郡家に屬けり。所造天下大神大穴持命、須久奈比古命と天下を巡行りたまひし時、稻種、此の處に墮としたまひき。故、種と云ふ。神龜三年に、字を多福と改む。

須佐郷 郡家の正西二十九里なり。神須佐能衰命の詔りたまひしく、「此の國は、小き國なれども國處なり。故、我が御名は、木石に著けじ」と詔りたまひて、即ち己命の御魂を鎮め置き給ひき。然して、即ち大須佐田、小須佐田を定め給ひき。故、須佐と云ふ。即ち正倉あり。(「國處」生活の場として相応しい地)

波多郷 郡家の西南十九里なり。波多都美命の天降り坐しし處なり。故、波多と云ふ。

來嶋郷 郡家の正南四十一里なり。伎自麻都美命坐せり。故、支自眞と云ふ。神龜三年に、字を來嶋と改む。即ち正倉あり。

8

1. 『出雲国風土記』にみる備後国境

◆飯石郡 郷7、里19 …「国どころなり」(byスサノオ)

飯石郡

須佐社 (須佐神社)
御門屋社 (三尾神社)
飯石社 (飯石神社) 以上五所は、並びに神祇官にあり。
河邊社 (川邊神社)
多倍社 (多倍神社)

三次郡の堺なる三坂に通ふは、八十一里なり。
波多・徑・須佐・徑・志都美徑 以上の三つの徑は、常には刻なし。但し政ある時に當りて、權に置くのみ。並びに、備後國に通ふなり。

備後國の惠宗郡の堺なる荒鹿坂に通ふは、三十九里二百歩なり。
刻あり。常に

琴引山。郡家の正南三十五里二百歩なり。高さ三百丈、周り一十一里あり。古老の傳へに云へらく、此の山の峯に窟あり。裏に所遺天下大神の御琴あり。長さ七尺、廣さ三尺、厚さ一尺五寸あり。又、石神あり。高さ二丈、周り四丈あり。故に琴引山と云ふ。
刻あり。常に

佐比賣山。郡家の正西五十一里二百四十歩なり。
刻あり。常に

神代社
粟谷社
上社
深野社
日倉社
毛利社
田中社
狹長社
飯石社
三加社
多加社
兎比社
井草社
託和社
菴鹿社
穴見社
志乃乃村社
以上一十六所は、並びに神祇官にあらざる。

9

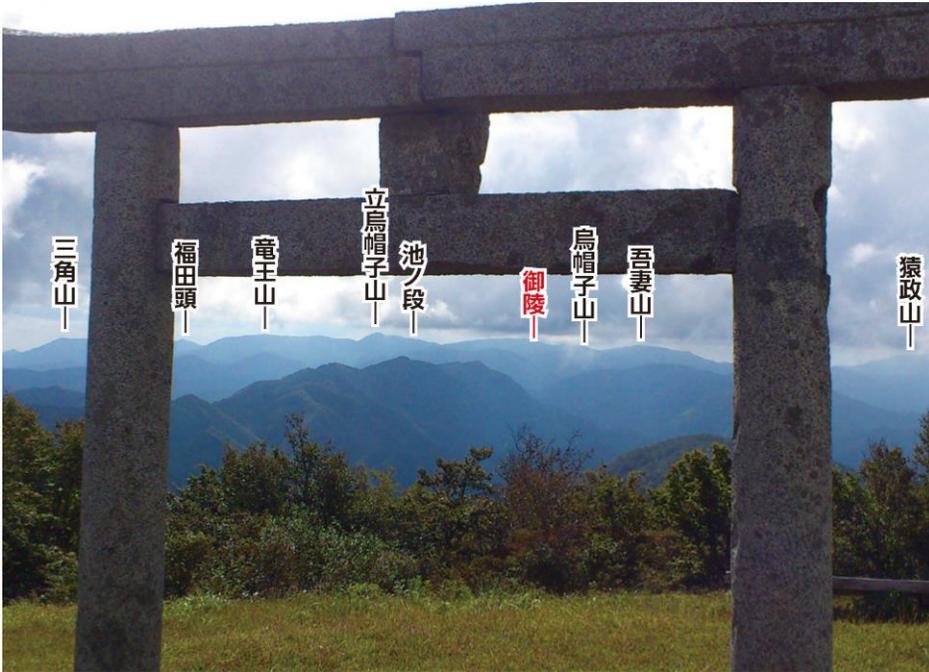


船通山
(島根県奥出雲町・鳥取県日南町)

ヤマタノオロチが
住んだという山

スサノオノミコト
ゆかりの地

10



船通山
からみた

比婆山連峰

と、周辺の峰々

11

2. 比婆山の「再発見」



12

2. 比婆山の「再発見」

◆『古事記』の比婆山神話

故其所神避之
伊邪那美神者葬
出雲國與伯伎國堺
比婆之山也

かれそ
故、其の

かむさ
神避りましし

いざなみのかみ
伊邪那美神は、

いずものくに
出雲國と

ははきのくに さかい
伯伎國との堺の

ひばのやま
比婆之山に
はぶ
葬りき

13

2. 比婆山の「再発見」

◆各地に伝わる「比婆山」伝説地

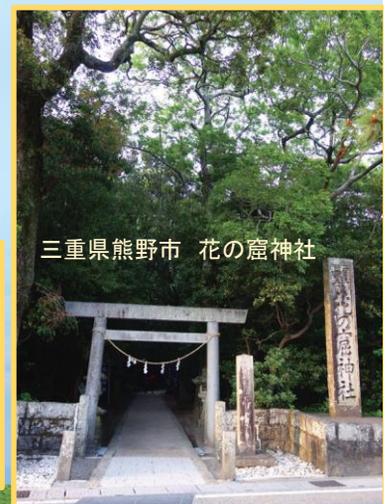
広島県庄原市 比婆山(御陵)



島根県安来市 比婆山(久米神社)



三重県熊野市 花の窟神社



14

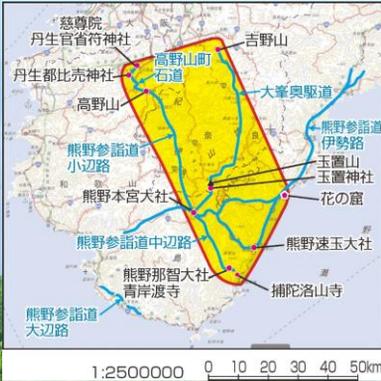
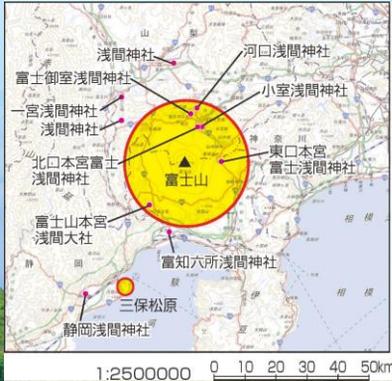


15

2. 比婆山の「再発見」

◆どれだけ広いのか？

「比婆山信仰圏」	世界遺産 「紀伊山地の霊場と参詣道」	世界遺産 「富士山 信仰の対象と芸術の源泉」
登録面積： — k m^2	登録面積： 約 5 k m^2	登録面積： 207 k m^2
緩衝地域： — k m^2	緩衝地域： 113.7 k m^2	緩衝地域： 496 k m^2
分布範囲： 2,000 k m^2 以上	分布範囲： 3,600 k m^2 以上	分布範囲： 約700 k m^2

16

2. 比婆山の「再発見」

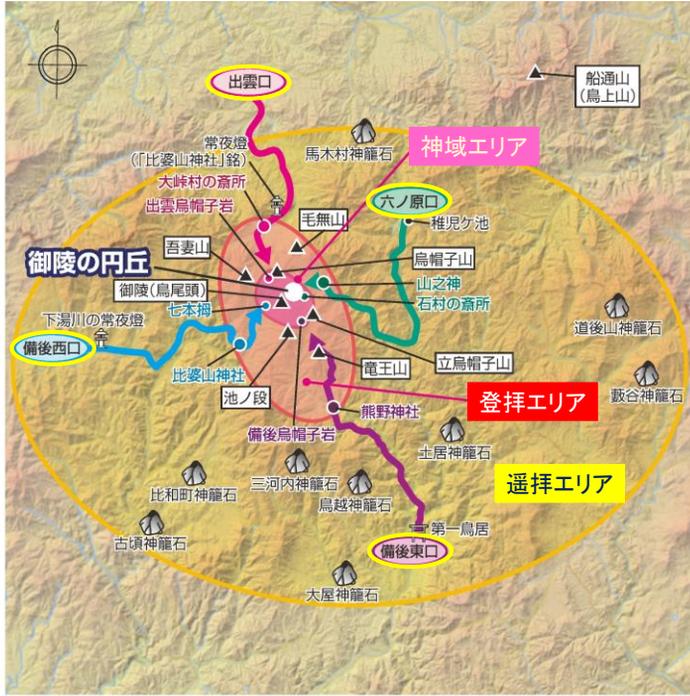
◆ 4つの参詣路と求心構造

4つの参詣路

- ・出雲口
- ・六ノ原口
- ・備後東口
- ・備後西口

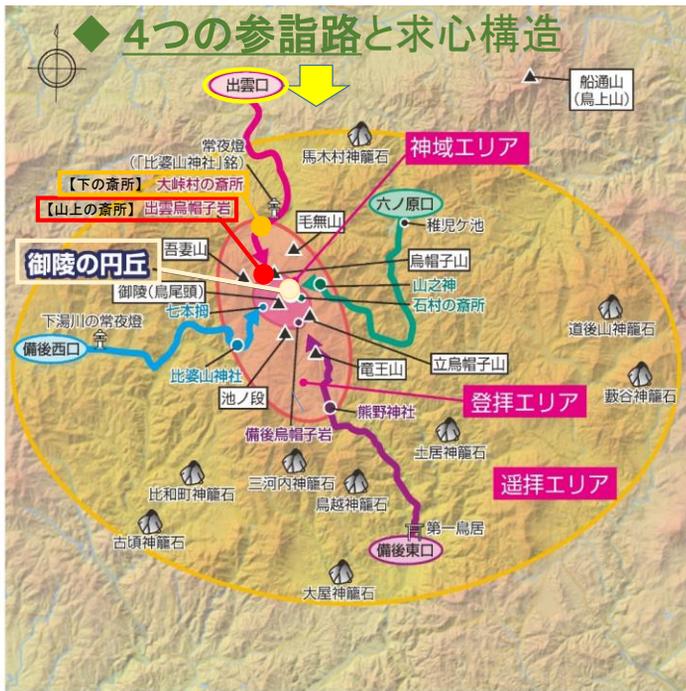
求心構造

- ・遥拝エリア
- ・登拝エリア
- ・神域エリア



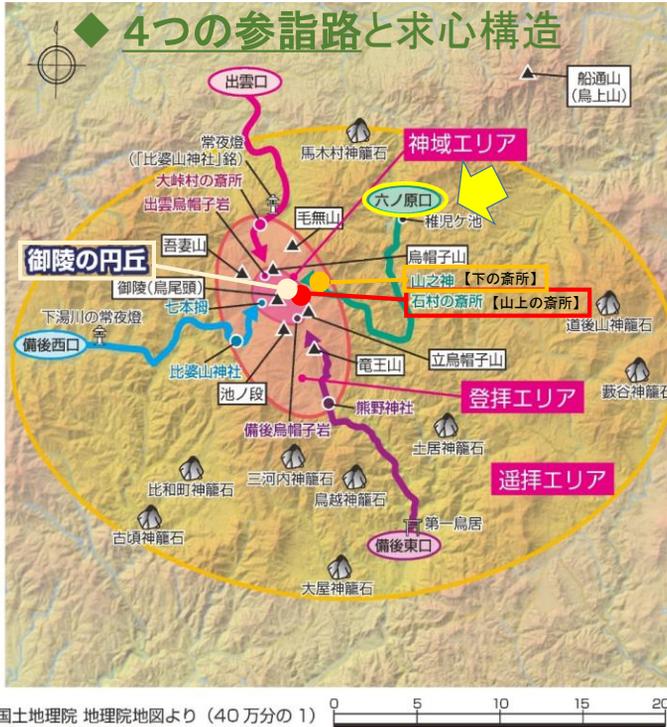
国土地理院 地理院地図より (40万分の1) 0 5 10 15 20km

17

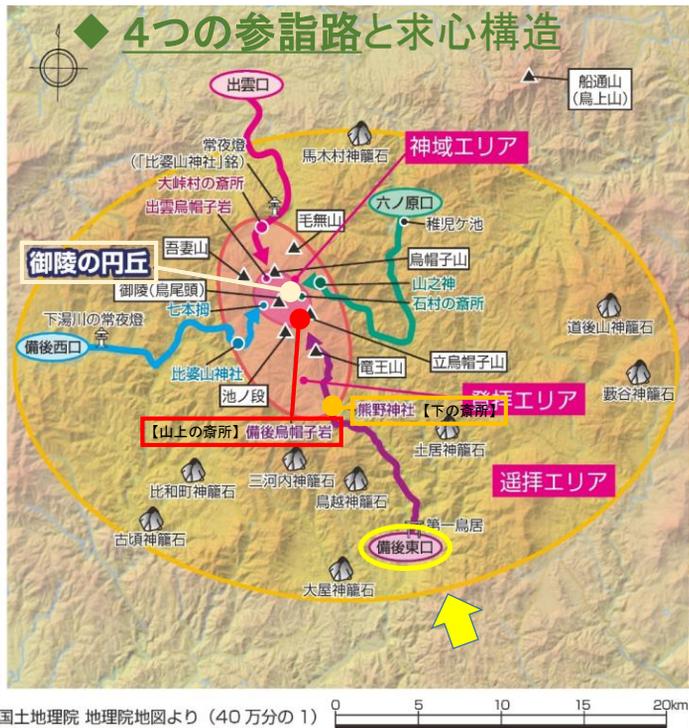


国土地理院 地理院地図より (40万分の1) 0 5 10 15 20km

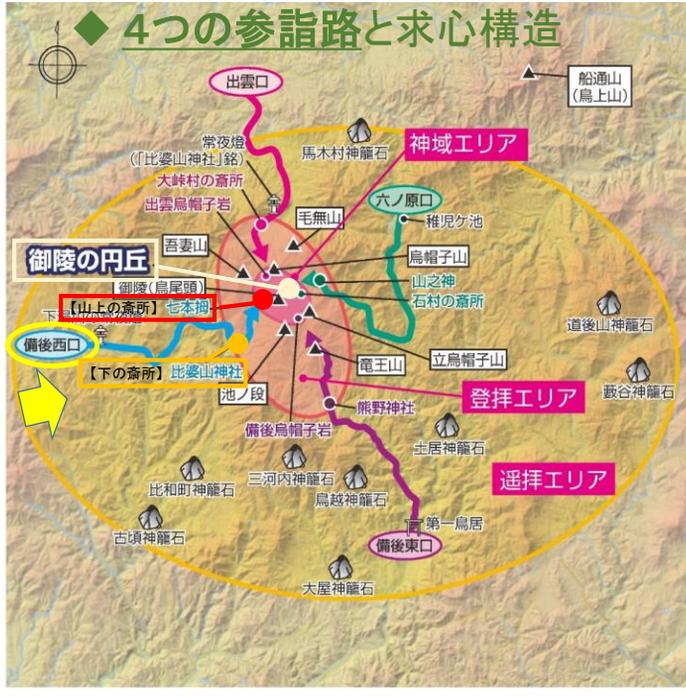
18



19



20



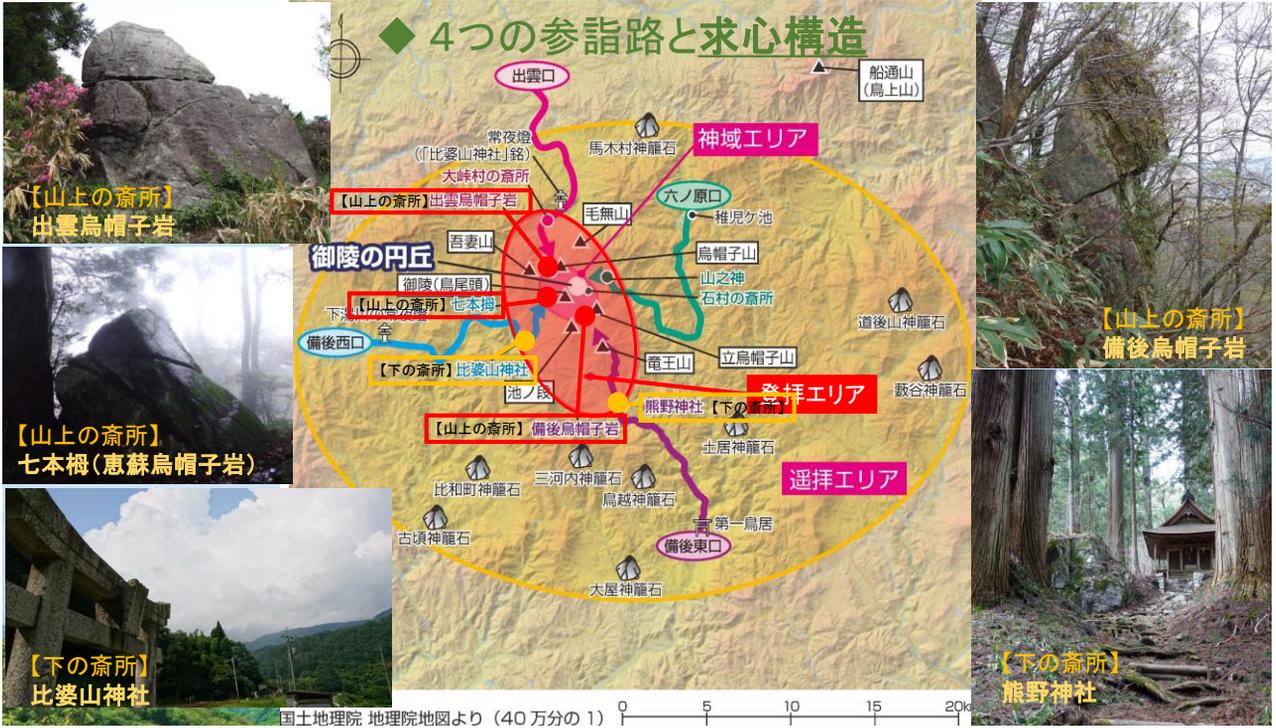
国土地理院 地理院地図より (40万分の1) 0 5 10 15 20km

21

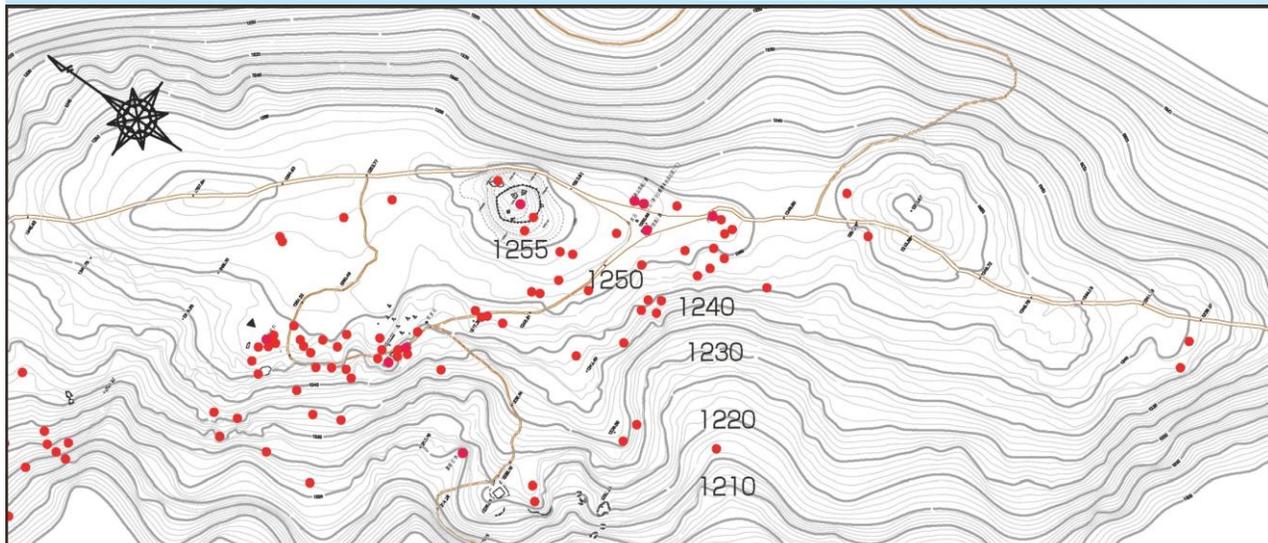


国土地理院 地理院地図より (40万分の1) 0 5 10 15 20km

22



◆ 4つの参詣路と求心構造



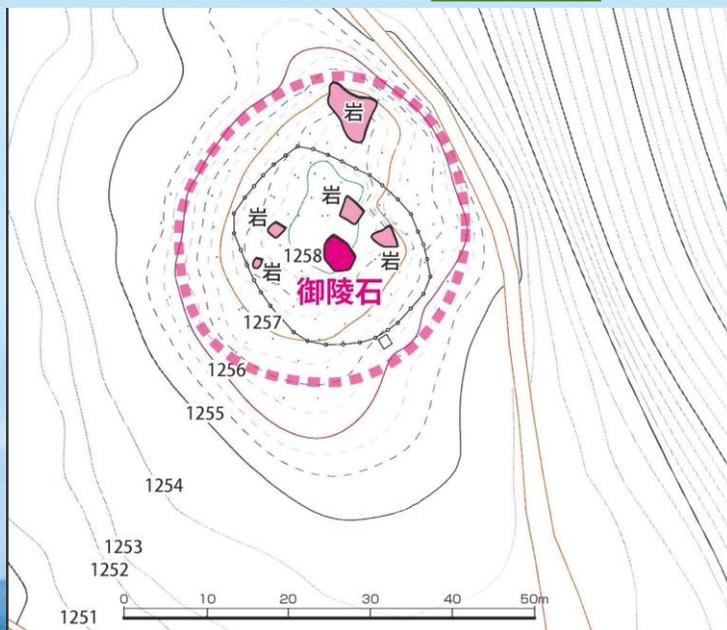
● はイチイ

1/6000 0 100 200 300m

庄原市教育委員会2016「御陵岡丘周辺測量図」

25

◆ 4つの参詣路と求心構造



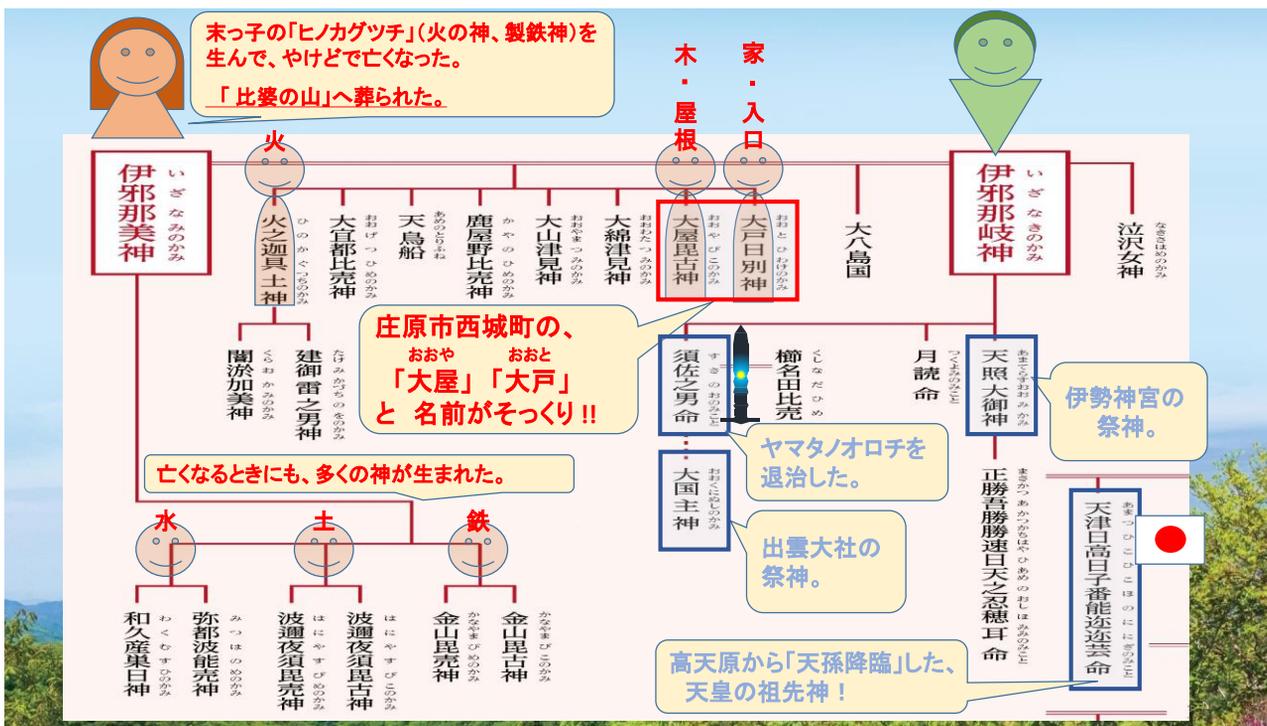
庄原市教育委員会2016「御陵岡丘平面図」

26

3. 高天原の神々と備北

◆イザナミとイザナキが生んだ「古事記」の神々

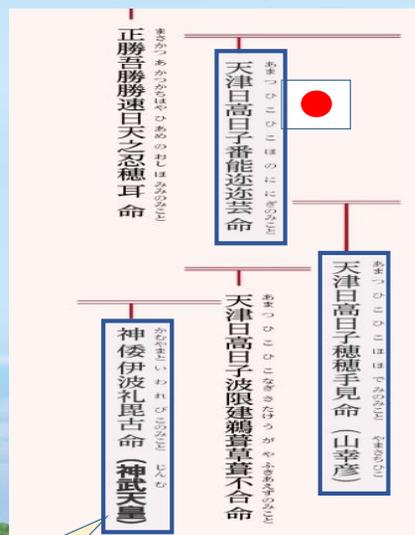
27



28

3. 高天原の神々と備北

◆イザナミとイザナキが生んだ「古事記」の神々



初代天皇とされる神

29

3. 高天原の神々と備北

◆備北の古社

(1) 国生み・神生み、ヒノカグツチの出産とイザナミの死 にまつわる神々

岩見神社、一野宮神社、岸神社、金倉神社、
高野八幡神社、奴可神社、爾比都売神社、多加意加美神社、意加美神社 など

(2) イザナミの葬地「比婆之山」、二神の離別 にまつわる神々

熊野神社、比和山八幡神社、比婆山神社、白山神社 など

(3) スサノオの乱暴と「天岩戸」 にまつわる神々

八坂神社、天戸神社、天照真良建雄神社、石神社、掛開神社 など

(4) 国譲り、天孫降臨 にまつわる神々

国司神社、杉神社、
蘇羅比古神社、知波夜比古神社、知波夜比売神社、白髭神社、御神神社 など

30

3. 高天原の神々と備北

◆備北の古社

(1) 国生み・神生み、ヒノカグツチの出産とイザナミの死
にまつわる神々

○一野宮神社(西城町大屋)

祭神: **オオヤビコ**

日本中に木を植えた神を
祀る古社。



31

3. 高天原の神々と備北

◆備北の古社

(1) 国生み・神生み、ヒノカグツチの出産とイザナミの死
にまつわる神々

○金倉神社(東城町加谷)

祭神: **ヒノカグツチ**

イザナミが、火の神(製鉄の神)

ヒノカグツチを出産した場所

ひごやま

「**火見山**」(**登ると即死!**)

の伝承をもつ古社

ひもとき

(**紐解神社**)。



金倉神社から猫山、耳木谷山を遥拝
周囲の丘は、すべてカンナ残丘

32

3. 高天原の神々と備北

◆備北の古社

(1) 国生み・神生み、ヒノカグツチの出産とイザナミの死 にまつわる神々

○高野八幡神社(東城町久代)

○奴可神社(東城町小奴可)

祭神:ニビツメ

☆奴可郡式内社☆

土(水銀朱)の神。

○爾比都売神社(西城町西城)

祭神:ハニヤマヒメ、カナヤマヒコ

☆奴可郡式内社☆

ヒノカグツチを産み

やけどを負ったイザナミが

亡くなる時に生んだ、

土の神、鉄の神。

33



奴可神社(東城町小奴可)



高野権現山付近からの眺め(東城町久代)



奴可郡式内社
爾比都売神社(西城町西城)



高野八幡神社
(爾比ノ宮。東城町久代)

34

3. 高天原の神々と備北

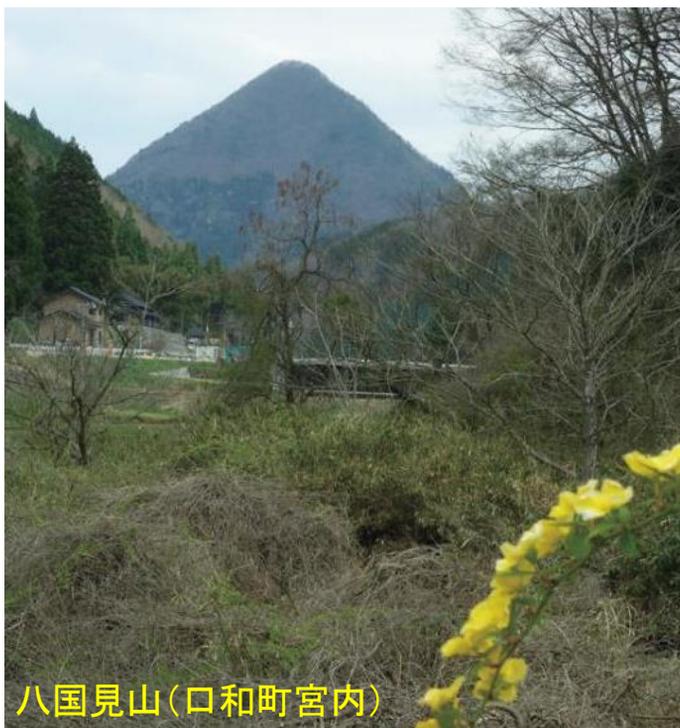
◆備北の古社

(1) 国生み・神生み、ヒノカグツチの出産とイザナミの死 にまつわる神々

- 多加意加美神社（口和町向泉）
 - 意加美神社（総領町稲草）
 - 本宮神社（口和町宮内）
- 祭神：タカオカミ
☆甲奴郡式内社☆
☆恵蘇郡式内社☆

恵みの雨をもたらす、竜神タカオカミを祀る古社。
イザナキに切られたヒノカグツチから成り出でたとも伝わる。

35



36



37

3. 高天原の神々と備北

◆備北の古社

(2)イザナミの葬地「比婆之山」、二神の離別 にまつわる神々

- 熊野神社(西城町熊野)
- 比和山八幡神社(比和町比和)
- 比婆山神社(比和町三河内)

祭神:イザナミ ほか

国土を生み、
神々を生んだ

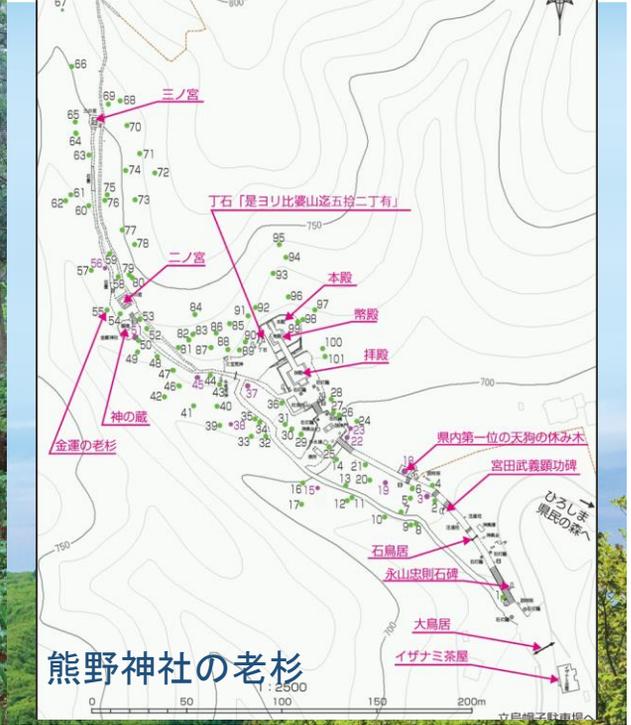
日本誕生の女神
を祀る、古社群。



38



熊野神社(西城町能野)
境内の「神ノ蔵」とニノ宮



熊野神社の老杉

39

3. 高天原の神々と備北

◆備北の古社

(2)イザナミの葬地「比婆之山」、二神の離別 にまつわる神々



比和山八幡神社
(比和町比和)



40

3. 高天原の神々と備北

◆備北の古社

(2)イザナミの葬地「比婆之山」、二神の離別 にまつわる神々



比婆山神社
(比和町三河内)

41

3. 高天原の神々と備北

◆備北の古社

(3)スサノオの乱暴と「天岩戸」 にまつわる神々

○天戸神社(西城町大佐)

祭神:アマノタジカラオ

天の岩戸をこじ開けた
高天原一の力の神
を祀る古社。



42

3. 高天原の神々と備北

◆備北の古社

(3)スサノオの乱暴と「天岩戸」にまつわる神々

○天照真良建雄神社(東城町内堀)

祭神:アマノタジカラオ
高天原一の力の神。

祭神:アマノウズメ
高天原一の踊りの女神。

☆ 9世紀の「日本三代実録」
記載社に比定☆



43

3. 高天原の神々と備北

◆備北の古社

(4)国譲り、天孫降臨 にまつわる神々

○蘇羅比古神社(庄原市本村町) ○知波夜比古神社(三次市高杉町)

祭神:ヒコホホデミ

○知波夜比古神社(同、三良坂町)

祭神:カムヤマトイワレヒコ

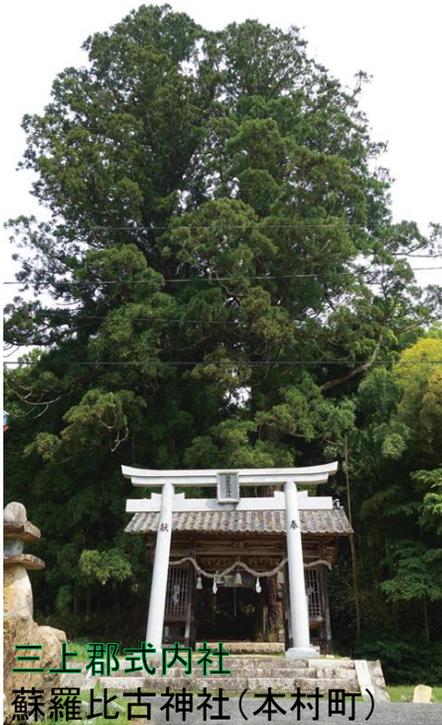
祭神:ヒコホホデミ など

☆三上郡式内社☆

☆三谿郡式内社☆

ヒコホホデミは、天孫ニニギの御子神、「山幸彦」。「虚空津日高」、「火遠理命」。
その孫カムヤマトイワレヒコは、大和入りを果たした初代天皇 = 「神武」。

44



三上郡式内社
蘇羅比古神社(本村町)



権現山(本村町)



平城宮木簡
(天平18年:746年)

3. 高天原の神々と備北

◆備北の古社

(4)国譲り、天孫降臨 にまつわる神々

三谿郡式内社
知波夜比古神社(三次市高杉町)



3. 高天原の神々と備北

◆備北の古社

(4) 国譲り、天孫降臨 にまつわる神々

「ヒコホテミノミコト」は、その昔、**神皇御水**に天降られました。

その時「ミコト」の烏帽子が脱げ落ちたところを今でも「**又ケヨボシ**」と呼び、山頂に忽然と岩石が突起し、恰も神の烏帽子に似ている所から「**烏帽子岩**」と呼ばれています。

これから足留山で一泊されたので、ここに「**足留神社**」という社があり「**足留大明神**」として祀っています。

この足留山から一〇〇メートルばかり離れた魚切という所で烏帽子を脱いで掛けられた岩がありますが、この岩を「**烏帽子掛の岩**」といいます。

「**池**」とい、誰一人としてこの水を汲み取るものもなく、又この岩に足を掛けるようなくともなく、**今にこの二つは住民の畏敬するところ**です。

更に、「**ミコト**」は**神皇御水**という露で一泊されましたが、当時のことで、杵臼の上に**コモ**敷いて休まりました。翌朝この家から一〇〇メートルばかりの所にある池で手水を使われましたが、その時その池のほとりに柳の杖を逆さに挿し置き、家に帰られ申されるに「**我は向こうに見える杉の木元に鎮座するが、ここに長くいるようであれば柳は芽を出すであらう**。」と。やがて柳は杖から芽を吹き出し、この手を洗われた池を「**御手洗池**」とい、**誰一人としてこの水を汲み取るものも無かつた**とい伝えられています。

私は、向こうに見える杉の木元に鎮座する」とい神楽された所が、高杉町にある知波夜比古神社で俗に、「**烏さん**」と呼ばれ「**日子穂々出見尊**」が奉祀されています。



足留神社(四神)

47

3. 高天原の神々と備北

◆備北の古社

(4) 国譲り、天孫降臨 にまつわる神々

一日子穂々出見尊天降り伝説―
烏帽子掛の岩・御手洗池

日子穂々出見尊が魚切の地で休まりましたが、その時烏帽子を脱いで掛けられた岩を「**烏帽子掛の岩**」、手を洗われた池を「**御手洗池**」といい、誰一人としてこの水を汲み取る者もなく、**今にこの二つは住民の畏敬するところ**であります。





「烏帽子掛の岩」



「御手洗池」

48

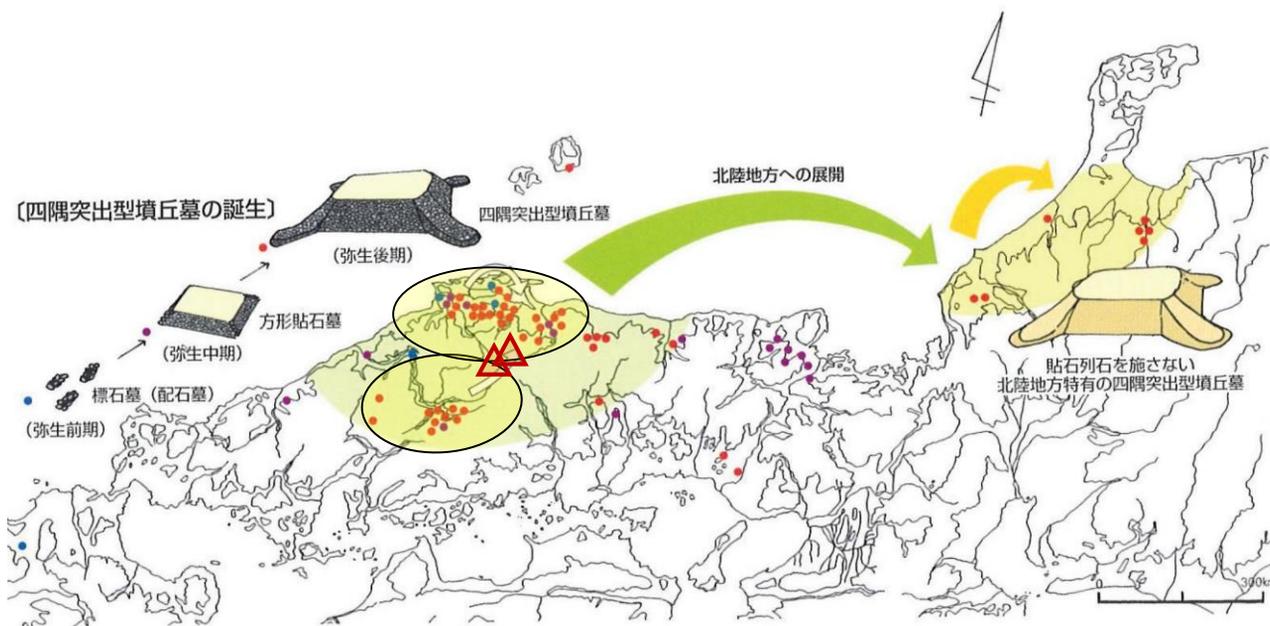
4. 神話と考古学の接点を探る

◆最近の考古学で分かってきたこと ①

「四隅突出型墳丘墓」



49



四隅突出型墳丘墓の誕生とその展開

(島根県立古代出雲歴史博物館2007『弥生王墓誕生 出雲に王が誕生したとき』をもとに作成)

50

4. 神話と考古学の接点を探る

◆最近の考古学で分かってきたこと ②

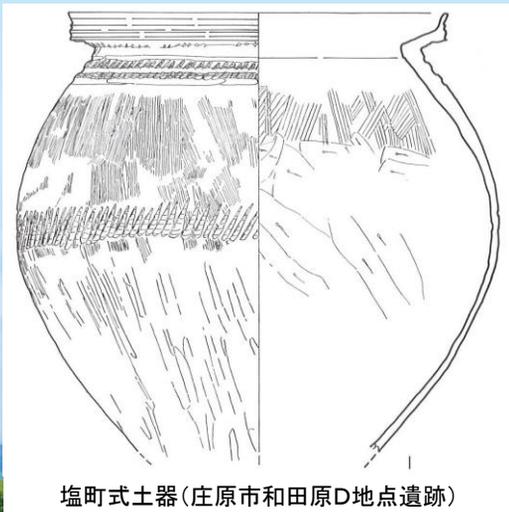
「塩町式土器文化圏」



51

4. 神話と考古学の接点を探る

◆最近の考古学で分かってきたこと ②



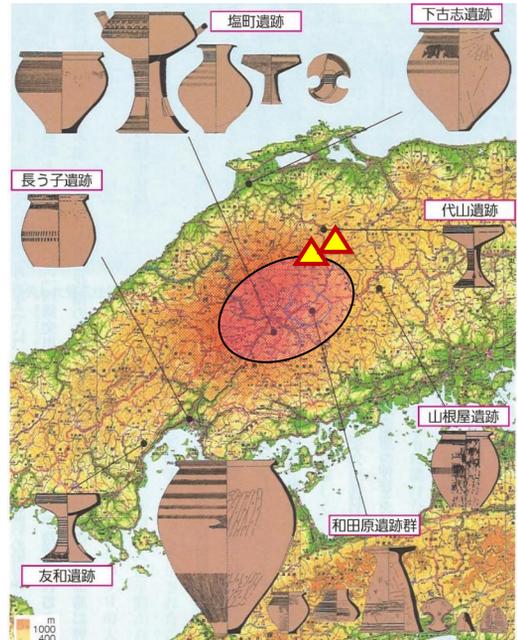
塩町式土器(庄原市和田原D地点遺跡)



52



佐田谷3号墓（高町）出土 注口付き脚台付鉢形土器



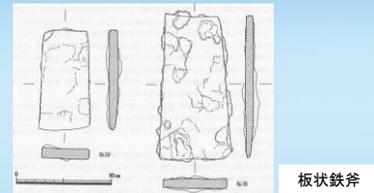
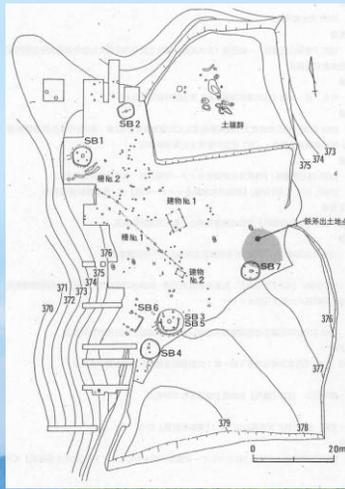
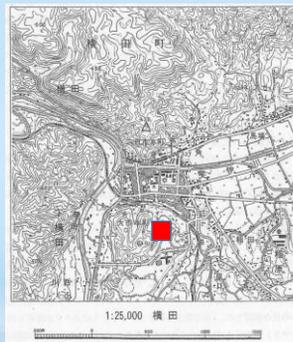
塩町式土器とその分布

(稲村2005「弥生時代」『庄原市の歴史』通史編をもとに作成)

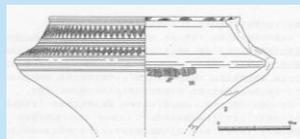
53

4. 神話と考古学の接点を探る

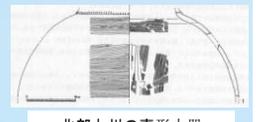
◆最近の考古学で分かってきたこと ②



板状鉄斧



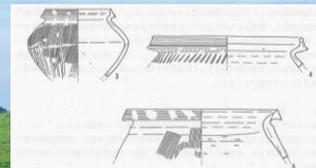
塩町式 脚台付鉢形土器



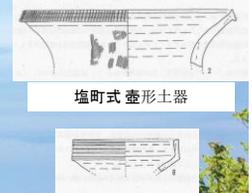
北部九州の壺形土器



塩町式 壺形土器



塩町式 甕形土器



塩町式 高坏形土器

国竹遺跡 (田中義昭・石田為成2000「島根県横田町国竹遺跡出土の鉄斧について」『島根考古学会誌』第17集)

54

4. 神話と考古学の接点を探る

◆最近の考古学で分かってきたこと ②

土器片発見地点

熊野神社境内遺跡 (平成31年4月27日発見)

この部分に相当

○参考資料
和原B地点遺跡 (庄原市新庄町) の弥生時代中期後半の甕形土器 (出典: 財団法人広島県埋蔵文化財調査センター1988『和原遺跡』)

55

塩町遺跡

下古志遺跡

長う子遺跡

代山遺跡

山根屋遺跡

和原遺跡群

友和遺跡

国竹遺跡

熊野神社境内遺跡

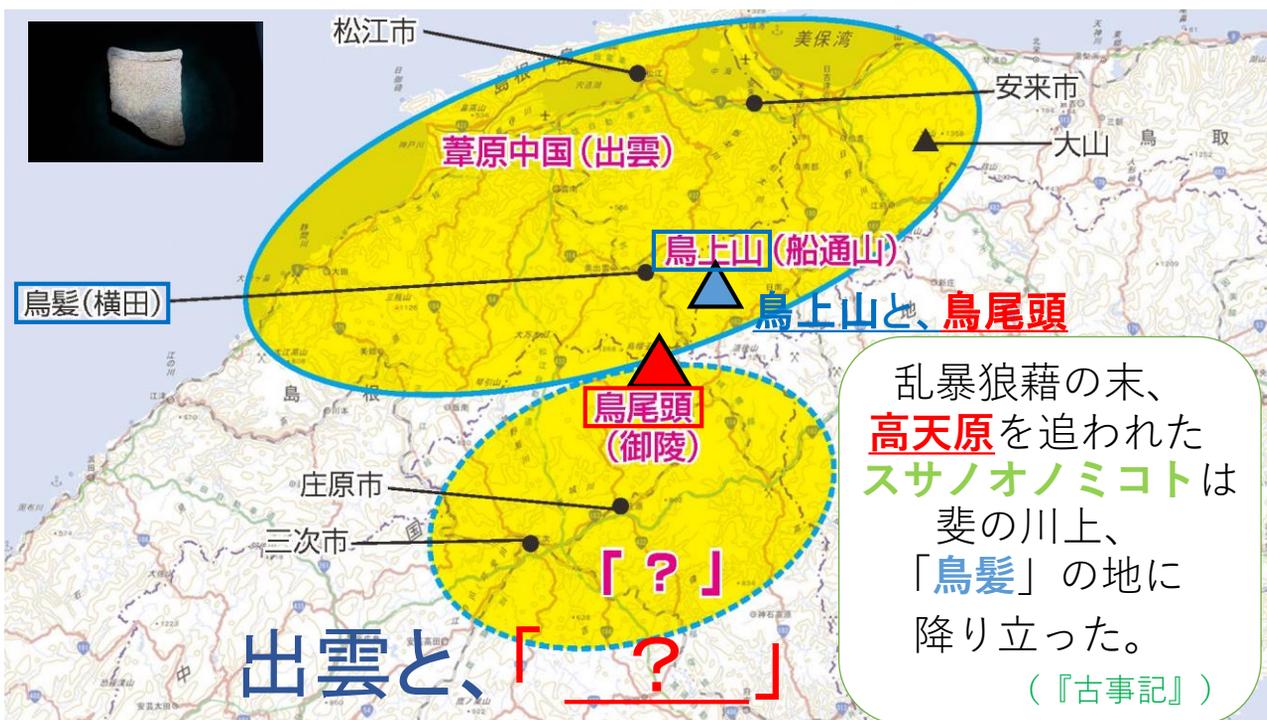
56

4. 神話と考古学の接点を探る

◆ 深まる疑問。よろこそ、「比婆山学」へ。



57



58



59



60

4. 神話と考古学の接点を探る

◆深まる疑問。ようこそ、「比婆山学」へ。

- ①備北の地に、今なお片鱗を残す“高天原の神々”の物語(の原形)は、弥生時代の遠い記憶なのか？
- ②熊野神社境内遺跡の弥生土器は、何を物語るのか？



謎解きの主役は、あなた。

61

ようこそ、
比婆山学へ

故、その神遊りましし
伊邪那美神は
出雲国と伯伎国との境の
比婆の山に葬りき

— 『古事記』 —

国を生み、神々を生んだ
女神の鎮まる聖なる山は、
深い謎に包まれてきた。
私たちのふるさと庄原市に、
知られざる『古事記』の聖地が
眠っていた。

それは、日本誕生の女神を祀る
比婆山(御陵)と、
悠久の巨杉の社叢に守られた
遥拝所の熊野神社である。

比婆山連峰は自然や歴史、
人々の暮らしや文化に裏打ちされた
稀有な資源にあふれている。
地域の宝を磨き、歴史と文化に学び、
未来への新たな産業を興す。
温故知新による、
この新しい地域づくりの手法を、
「比婆山学」と命名し、推進しよう。

庄原市長
木山耕二

ご清聴ありがとうございました。

62